

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川の伝統を将来につなぐ「鮎しゃくり漁体験会」

7月28日(日)に、「鏡川漁業協同組合(以下、『鏡川漁協』)」主催の「第2回鮎しゃくり漁体験会」が開催されました！日頃から鏡川の環境保全に取り組む鏡川漁協の皆さんが主催したこの体験会には、まちのコイン「ぼっちり」を通じてあたたかい応援の声が多数届いており、当日参加した人はもちろん、参加できなかった人も、美しい鏡川での伝統漁法に関心を寄せていました。

＼体験チケットを通じて応援の声が多数届きました／



- こんな楽しい体験は他にない！とっても楽しみにしていました。今年も開催していただき、とても嬉しいです！
- 投網と友釣りしか知りませんでした。お子さんに伝統漁法の伝授、いい体験ですね。
- 遠方(茨城)のため参加できませんが、応援です！当日見に行けないので動画を見てみたい！
- これは面白そうですね。管理が大変そうですが、ある程度の期間、土日だけでも実施してほしいです。
- 子どもでも挑戦できることがすごいですね！箱眼鏡で直接見て捕まえられる、透明度が高い川だからこそできるチャレンジ、頑張ってください。

＼鏡川漁協の職員さんより、体験会についてのコメントと写真をいただきました／

「第2回鮎しゃくり漁体験会」を鏡川上流、支流東川川で開催いたしました。

この日は最高気温 34.5℃。かなり暑い中でしたが、オーベルジュ土佐山をバックに、15組35名の参加者で賑わいました。



最後に、体験会で使用した箱ビンをプレゼントしました。この箱ビンを持って、また夏休み中に鏡川に遊びに来ていただけたらと思います。

今回の体験会は、伝統漁法を学ぶことはもちろん、これをきっかけに、また家族や友人と川を訪れ、川に慣れ親しんでいただき、川の変化や川の怖さを知り、自分の身を守る術を身につけてもらいたいと願っております。



学年ごとに5班に分かれて、1人5匹捕まえたなら交代するようにしました。子どもたちはそれぞれ、するすると5匹捕まえたり、いつまでもアユに翻弄されていたり、ずっとアユと格闘して体が冷えて震えていたり、様々な様子が見られ、賑わっていました。

＼体験会后、参加者から「ぼっちり」を通じてコメントが届きました／

鮎しゃくり漁体験会、ありがとうございました。子どもたちに、針が危なくないよう、獲れるまで指導や見守りをしてくださり、とても良い経験をさせていただきました。組合のみなさんとても気のいいおんちゃんばかり。また来年も参加できたらいいなあ。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android